

新任営農・TAC担当者研修会を開催(4/27-28)

JAグループ石川営農戦略室では、4月27・28日に県内の新任営農担当者、TAC担当者を対象とした研修会を開催しました。

内容は、1日目に本年度の新任営農担当者を対象に、JAをめぐる情勢や県内での水稻・園芸の栽培や土壌診断、肥料・農薬に関する基礎知識など営農全般に及ぶ基礎的な知識を研修しました。

また、2日目には新任のTAC担当者及び管理者を対象に、TAC活動の概要説明の後、JA石川かほくの櫻井氏を講師に招き、TACの新たな活動様式にかかる事例紹介をしたほか、過去のパワーアップ大会での優良事例動画の聴講や、TACシステムの概要と基本操作について説明が行われました。

参加された皆様のご活躍を期待しております。

活動の紹介を行う
JA石川かほく:櫻井氏

TAC活動の基礎とにかかる講義を行う
JA全農いしかわ:阿部氏



石川県集落営農組織JA連絡協議会通常総会を開催(4/12)

令和4年度通常総会がJA石川教育センターで開催されました。

総会では令和3年度の事業報告および令和4年度の事業計画について審議の結果、満場一致で可決され、県域の連絡組織としての取り組みを確認しました。

また、アドバイザーである県農業政策課、INATO、農業会議から補助事業や人材確保に関する支援等の情報提供があり、活発な意見交換が行われたほか、昨年の集落サミットにおける優良事例動画について聴講しました。

JAグループ石川営農戦略室では、引き続き集落営農組織の発展に向けた支援に邁進していきます。



「ういずOne」の紹介

トロ箱養液栽培システム「ういずOne」は“水稲育苗ハウスや遊休ハウスの有効活用”を目的にJA全農がパッケージ開発した、栽培管理が容易で、安価な栽培システムです。
ハウスの床土を使用しないため、水稲育苗に使用する薬剤を気にすることなく食用作物が栽培でき、翌年の育苗時の整地が不要である点が特徴です。県内では、平成27年から導入が始まり、令和3年までに、17戸の生産者が栽培に取り組んでいます。営農戦略室では、今後もハウスの有効活用方法として、提案していきます。

【「ういずOne」一問一答】

Q. 初めてでもうまく作れますか？

A. 点滴灌水により草勢管理が比較的容易で安定しているので初心者の方におススメです。また、隔離床のため、病気が発生しても栽培槽ごとに対処できます。

Q. 栽培槽と培土は使い捨てですか？

A. 使用状況や環境により異なりますが、栽培槽は5年、培土は3年程度を目途に交換が必要です。

Q. 使用する水はどんな水でも大丈夫？

A. ある程度の水量(水圧)が確認できれば、水道、井戸水でも可能です。ただし、水質についてはカルシウムや鉄分の含有量が多い場合、目詰まりをおこすことがありますので、設置前には必ず原水分析で、水質確認を行います。

【ういずOneの栽培の様子】



石川県では現在までに「トマト」の他に「アールスメロン」、「パプリカ」のマニュアルを作成しています



～5・6月の予定～

日時	内容
5月19日(金) 13:30～	たまねぎWG
5月25日(火) 13:30～	ブロッコリーWG
6月 3日(金) 13:30～	かぼちゃWG
6月 6日(月) 9:00～	GH農場評価員養成講習(基礎講習会 6・7日、実践講習会 9・10日)
6月 8日(水) 10:30～	TAC管理者会議
6月10日(金) 13:30～	花き新進指導員研修
6月10日(金) 13:30～	白ねぎWG
6月14日(火) 10:30～	TAC担当者会議(加賀地区 14日、金沢地区 15日、能登地区 16日)
6月21日(火) 13:30～	担い手農家台帳システム操作研修会
6月22日(水) 9:30～	第1回 農業経営指導者研修会

【お問い合わせ先】 J Aグループ石川営農戦略室 武田
 TEL : 076-240-5051 FAX : 076-240-9120